

第二部

活動報告 1

特許版・産業日本語の活動報告

河合 弘明

一般財団法人日本特許情報機構 調査研究部長

／特許版・産業日本語委員会 委員

特許版・産業日本語の 活動報告

一般財団法人 日本特許情報機構
河合 弘明



はじめに(目次)

- ◆ 「産業日本語」とは
- ◆ 「特許版・産業日本語」の背景
- ◆ 「特許版・産業日本語」の枠組み
 - 36条ルール化検討G
 - 構造化クレームTF
 - 「特許ライティングマニュアル」改訂TF
- ◆ 公式ウェブサイトのご案内
- ◆ おわりに

「産業日本語」とは

「産業・技術情報を、人に理解しやすく、かつ、機械(コンピュータ)にも処理しやすく表現するための日本語」を意味する造語です。

- 産業・技術情報を、客観的かつ正確に伝達し、機械処理に適した日本語とすることを目指します。
- 「産業日本語」に係る日本語研究と、その研究成果の普及を推進します。
- これにより、以下を実現していきます。
 - (1) 自然言語処理(翻訳等)における品質と効率の向上
 - (2) 正確かつ円滑な情報発信力の強化
 - (3) 知的生産性の向上

3

「特許版・産業日本語」の背景

産業分野における「特許文書」は、技術文書であり、法律文書(権利文書)でもあります。

- 特許文書は、「願書」・「特許請求の範囲」・「明細書」・「図面」・「要約書」から構成されます。
- 特許文書の作成は高度な正確性が求められるため、機械言語処理の支援が有益です。
- 特許文書の活用場面は海外にも拡大し、多言語翻訳に耐えられる品質の日本語を用いることが重要です。
- しかし、特許文書に特有の課題があります。
 - 一文が長すぎる。文章の係り受けが複雑。
 - 特許独特の表現(言い回し・一般化・抽象化)の多用。
 - 一般用語と異なる概念による技術用語の定義。 など

4

「特許版・産業日本語」の枠組み

特許文書に対する日本語改善のアプローチとして、「特許版・産業日本語」の活動を支援しています。

特許版・産業日本語委員会(事務局：Japio)

委員長：橋田浩一（東京大学教授）

委員：23名（平成26年度）

特許全般（企業知財担当、弁理士）・特許情報・特許翻訳・自然言語処理・情報工学ほか各分野の専門家より構成

主な活動：特許版・産業日本語の調査研究、ワークショップ開催、報告書のとりまとめ・公表。また、以下の研究活動を支援。

- 36条ルール化
- 構造化クレームを用いる請求項文ライティング
- グラフ構造形式による特許文書ライティング支援
- 「特許ライティングマニュアル」改訂

5

36条ルール化検討会議

「明細書及び特許請求の範囲の記載要件」（特許法36条関連）について検討をしています。

主査：谷川英和（IRD国際特許事務所所長・弁理士／情報学博士）

委員：7名（主査を含む）

主な活動：拒絶理由通知書（特許法36条関連）の収集・分析、検討会議の開催、報告書のとりまとめ、

「特許版・産業日本語ワークショップ」等での発表

主な論点：

- 拒絶理由通知書の適用条項の分析（審査年別・技術分野別）
- 明確性要件（特許法36条6項2号）に基づく違反類型化
- 産業上利用可能性（特許法29条1項柱書）への応用
- 拒絶理由通知書の自動解析＜今後の課題＞
- 特許文書作成の支援ツール化＜今後の課題＞

6

構造化クレームTF

「構造化クレーム」のツールとしての有用性、機械翻訳への適用可能性等について議論をしています。

リーダー: **横井俊夫** (NPO法人ISeC理事／東京工科大学名誉教授)

メンバー: 8名 (リーダーを含む)

主な活動: タスクフォース会合の開催、報告書のとりまとめ

主な論点:

- 「構造化クレームを用いる請求項文ライティングマニュアル」の作成
- 「構造化クレーム」がツールとして有用であるか
- 「構造化クレーム」を介することにより、機械翻訳システムへ適用できるか
- 「和文構造化クレーム」の作成
- 「和文構造化クレーム」から「英文構造化クレーム」への翻訳

7

「特許ライティングマニュアル」改訂TF

「特許ライティングマニュアル」(初版:25年度刊行)の改訂に向けた議論をしています。

リーダー: **早川貴之** (Japio特許情報研究所)

メンバー: 8名 (リーダー・参加予定者を含む)

主な活動: 「特許ライティングマニュアル」(初版:25年度刊行)の配布、有識者ヒアリング、ルール改訂準備

主な論点:

- 翻訳専門家を通じた特許ライティングの課題収集
- 「特許ライティングルール」に係る有識者ヒアリング
- 「仮想特許明細書」の作成・英訳と分析
- 「特許ライティングルール」の分析と再構築
- 「特許ライティングマニュアル」(第二版)への改訂準備
- 「特許ライティングリファレンス」の整備<今後の課題>

8

公式ウェブサイトのご紹介

<http://japio-tjp.org/>

特許版・産業日本語

Technical Japanese for Patents

ホーム 概要 公開資料 リンク ログイン

サイトマップ

本サイトでは、特許情報のための産業日本語に関するホットな話題を提供いたします。

◆トピックス

- ・2014-4-25 平成25年度 特許版・産業日本語委員会 報告書を掲載いたしました。
- ・2014-3-24 特許ライティングマニュアル(初版)第2刷を掲載いたしました。
- ・2013-8-29 特許ライティングマニュアル(初版)を掲載いたしました。
- ・2013-4-26 平成24年度 特許版・産業日本語委員会 報告書を掲載いたしました。
- ・2013-1-30 第4回産業日本語研究会・シンポジウム開催の案内がアナウンスされました。皆様のご参加をお待ちしています。
- ・2012-6-1 特許・情報フェア&コンファレンス2012の開催(11月)がアナウンスされました。
- ・2012-6-1 特許版・産業日本語のサイトをリニューアルいたしました。

平成26年度版も掲載予定

初版(PDF)を入手可能

9

おわりに

ご静聴ありがとうございました。

グローバル化が進むなか、正確かつ円滑な情報発信力が求められ、「産業日本語」の役割は益々重要になるものと考えます。

日本特許情報機構は、皆様のご支援・ご協力を賜りながら、今後も引き続き、「特許版・産業日本語」活動への支援を続けてまいります。

＜本件問合せ先＞
一般財団法人 日本特許情報機構
調査研究部長 河合 弘明
TEL: 03-3615-5513
E-mail: hiroaki_kawai@japio.or.jp

一般財団法人
日本特許情報機構
Japio Japan Patent Information Organization
＜Website＞ <http://www.japio.or.jp/>

10